

日時：令和7年12月5日金曜日 10:00～12:15

場所：障害者支援施設いつきの里 会議室

出席者：

いつきの里 利用者代表 K・N様

家族代表 H様(家族会)

地域代表 N様(北谷地区)

識見を有する者 H様(他の社会福祉法人の園長)

松山市障がい福祉課 担当者 T様 H様

いつきの里職員

安高泰志(管理者)

福富智樹(支援課長)

白石美穂(支援課長)

大野愛之(支援係長)

議案：

- 1.管理者挨拶
推進会議の趣旨説明
- 2.参加者自己紹介
- 3.グループホームの概要説明・活動内容説明等(パワーポイントにて映写)
- 4.グループホームの見学
- 5.見学後の意見交換
- 6.閉会

内容

①管理者挨拶

管理者よりお礼

地域連携推進会議の趣旨説明

説明や見学を通して意見を頂きたい旨のお願い

②参加者自己紹介

別紙参加者名簿に基づき紹介。(個人情報のため、終了後回収)

家族代表 H様(家族会)

地域代表 N様(北谷地区)

識見を有する者 H様(他の社会福祉法人の園長)

松山市障がい福祉課 担当者 T様 H様

いつきホームズ

利用者1名

職員 4名 福富 白石 大野 安高

それぞれから一言ずついただく

③ いつきホームズの概要説明・活動内容説明等(パワーポイントにて映写)

地域移行の取り組み、いつきホームズ開設から現在までの沿革まで管理者が説明

以降、取り組みや大切にしていること、課題等について大野が説明を行う。

映写用資料には多く写真が写っている旨をお伝えしている。（資料は個人情報に配慮）

共同生活援助事業の利用者状況（障害支援区分・利用期間・年齢・顔ご区分・ご家族状況）

職員状況（職種・人員・職務内容）

建物概要

生活支援

食事の様子

地域の活動

令和7年度事業計画重点項目

見える化・具体化

価値観と目指すところ

事故報告

苦情・意見要望

虐待防止

避難訓練・防災

感染症対策

課題（高齢化・重度化・支援の質等）

大切にしていること

映像も含め約45分間説明。（管理者・大野）

その後、質問と回答

・H様（ご家族）より 先ほど、映像を見させていただいて、これほどまでしていただいているんだと改めて知って、感激しました。

・（管理者）これから5か所のグループホームを見学していただく予定でしたが、1つのグループホームで、人生の節目に差し掛かっている利用者様がおりますので、そのホームは建物だけをみることにさせていただきます。

④グループホーム見学

つばめホーム（建物だけ）⇒ことりホーム⇒さくらホーム⇒あかりホーム⇒つばきもくれんホームの見学を実施。

⑤見学後の意見交換等

- ・N様（地域代表者）：今日の話とはずれるが、土砂崩れなどの話があったが、防災会の会長をしていた。この3月から北谷地区の防災会があり、いつきの里さんなどには協力をさせていただきたい。できたら参加していただきたいと思います。
- ・H様（園長）：同じような事業を行う中で、ターミナルケアに取り組まれている利用者様の映像を通して、施設長の利用者様に寄り添う姿勢が印象的であり、職員の皆さんも家族と同じ立場で支えようとする想いが伝わってきた。管理者として勉強させていただけたとともに、施設は近くにあるのでお互い切磋琢磨しながら協力していきたいので、よろしくお願いいたします。
- ・H様（障害福祉課担当者様）：グループホームごとに、それぞれ地域の方との交流をされていることを聞いて印象に残った。見学をしたホームで見える化の説明を伺った際に、職員さんの写真があったが、貼っている写真以外にもたくさん写真があって、たくさんの職員さんが支えていらっしゃる事が分かった。関わっている職員さんが、利用者さんの幸せのために一人一人の職員さんががんばっておられるのだと知って、勉強になりました。
- ・T様（障害福祉課担当者様）：利用者さんの安心安全を守ることだけでも大変なのに、その先を見据え、一人一人の幸せを考え、生活を支えておられる職員さんの努力やご苦労がよくわかった。大変な中でも心から職員と一緒に楽しんでいるという話を聞いて、すばらしいと感じた。ターミナルケアも大変だと思うが、その方の幸せを最後まで考えてということが伝わったので、うれしかったです。今日経験したことを職場に戻っても、事務作業するだけではなく、利用者さんの生活背景を考えながら日々仕事に取り組んでいけたらと思う。

- ・N様（地域代表者）：私は介護福祉士をもっており、専門は認知症高齢者の方のグループホームで支援させていただいている。高齢者とかかわっている中で、安楽死というのがあり、ともに支援している。入居者さんを中心にと思っている、職員主導の介護になってしまうことがあると思うので、いつきホームズの職員さんの苦労は痛いほどわかる。その中でも今日の話を伺ってとても参考になった。ありがとうございました。
- ・H様（ご家族）：親としては、子供たちのことを一番に考えてくださって、よくしていただいていることはありがたいとしか言いようがない。こういうホームに入れたことは、幸運だったと思います。これからも大変な子供たちだと思うが、よろしくお願いします。
- ・N様（利用者代表）：私のところは、ウィズです。ウィズへ行きます。よろしくお願いします。頑張ります。

⑥ 閉会のあいさつ

（管理者）

参加者への感謝をお伝えしたうえで、当事業所は障害者支援施設・グループホームを運営する福祉事業者として、「利用者の今を大切に、より幸せに暮らせる道を考え続ける」姿勢を大切にしていることをお話しした。事業の形ではなく、「その人がどう生きたいか」に寄り添うことが本質であり、利用者の幸せを第一に考える思いは共通であることをお伝えした。

一方で、支援が行き届かず、利用者にけがが生じたり、ご迷惑をおかけすることもあり、これらの課題を真摯に受け止めて改善に努めていく考えであることを述べた。より良い暮らしを実現するためには、支援者一人ひとりが小さな行動を積み重ね続けること、また職員がいきいきと働ける環境づくりも重要であることに触れた。

「今日という一日を、その人にとって良い日にする」ことが支援の原点であり、その積み重ねが「ここで暮らしてよかった」と思える生活につながることを、そして福祉の本質は制度ではなく「人」であることを改めて確認し、利用者・職員・家族・地域の安心のために誠実に取り組み続けたいとの思いをお伝えした。

最後に、参加者からいただいた意見を今後の運営に活かし、地域とともに歩む施設でありたいとの考えを述べ、挨拶を締めくくった。